

建築設備 第1条の3第4項(建築物の計画に建築設備が含まれる場合の確認申請)表1

い	図書の種類	明示すべき事項	チェック欄
1 法第28条第2項から第4項までの規定が適用される換気設備(居室の採光及び換気)	各階平面図	居室に設ける換気のための窓その他の開口部の位置及び面積	
		給気機又は給気口の位置	
		排気機若しくは排気口、排気筒又は煙突の位置 かまど、こんろその他設備器具の位置、種別及び発熱量 火を使用する室に関する換気経路 中央管理室の位置	
	二面以上の断面図	給気機又は給気口の位置 排気機若しくは排気口、排気筒又は煙突の位置	
	換気設備の仕様書	換気設備の有効換気量 中央管理方式の空気調和設備の有効換気量	
	換気設備の構造詳細図	火を使用する設備又は器具の近くの排気フードの材料の種別	
	給気口及び排気口の有効開口面積を算定した際の計算書	給気口有効開口面積又は給気筒の有効開口面積及びその算定方法 排気口の有効開口面積又は排気筒の有効断面積及び算出方法 煙突の有効断面積及びその算出方法 給気口の中心から排気筒の頂部の外気に開放された部分の中心までの高	
中央管理方式の空気調和設備の給気機又は排気機の給気又は排気能力を算定した際の計算書	中央管理方式の空気調和設備の給気機又は排気機の給気又は排気能力及びその算定方法 換気経路の全圧力損失(直管部損失、局部損失、諸機器その他における圧力損失の合計をいう。)及びその算出方法		
換気設備の使用材料	風道に用いる材料の種別		
2 法第28条の2第3号の規定が適用される換気設備(ホルムアルデヒド)	各階平面図	中央管理室の位置	
		令第20条の7第1項第2号の表及び令第20条の8第2項に規定するホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするために必要な換気を確保することのできる居室の構造方法	
	換気設備の構造詳細図	令第20条の7第1項第2号の表及び令第20条の8第2項に規定するホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするために必要な換気を確保することのできる居室の構造方法 令第20条の8第1項第1号イ(3)、ロ(3)及びハに規定するホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするために必要な換気を確保することのできる換気設備の構造方法	
給気機又は排気機の給気又は排気能力を算定した際の計算書	給気機又は排気機の給気又は排気能力及びその算定方法 換気経路の全圧力損失(直管部損失、局部損失、諸機器その他における圧力損失の合計をいう。)及びその算出方法		
3 法第31条第1項の規定が適用される便所(便所)	配置図	排水ます及び公共下水道の位置	
4 法第31条第2項の規定が適用される尿尿浄化槽又は合併処理浄化槽(以下この項において「浄化槽」という。)	配置図	浄化槽の位置及び当該浄化槽からの放流水の放流先又は放流方法	
	浄化槽の仕様書	浄化槽の汚物処理性能 浄化槽の処理対象人員及びその算定方法 浄化槽の処理方法	
		浄化槽の各槽の有効容量	
	浄化槽の構造詳細図	浄化槽の構造	

5 法第32条の規定が適用される電気設備	各階平面図	通常の電源及び予備電源の種類及び位置 非常用の照明装置及び予備電源を有する照明設備の位置	
	電気設備の構造詳細図	受電設備の電気配線の状況 通常の電源及び予備電源の種類及び構造 予備電源に係る負荷機器の電気配線の状況 ガス漏れを検知し、警報する設備(以下「ガス漏れ警報設備」という。)に係る電気配線の構造	
	予備電源の容量を算出した際の計算	予備電源の容量及びその算出方法	
6 法第33条の規定が適用される避雷設備	付近見取図	建築物の周囲の状況	
	二面以上の立面図	建築物の高さが20mを超える部分 電撃から保護される範囲 受電部システムの配置	
	小屋伏図	受電部システムの配置	
	避雷設備の構造詳細図	雨水等により腐食のおそれのある避雷設備の部分 日本工業規格A4201-1992又は日本工業規格A4201-2003の別 受電部システム及び引下げ導線の位置及び構造 接地極の位置及び構造	
	避雷設備の使用材料	腐食しにくい材料を用い、又は有効な腐食防止のための措置を講じた避雷設備の部分	
7 法第34条第1項の規定が適用される昇降機	各階平面図	昇降機の昇降路の周壁及び開口部の位置	
	昇降機の構造詳細図	昇降機の昇降路の周壁及び開口部の構造	
8 法第34条第2項の規定が適用される非常用の昇降	各階平面図	非常用の昇降機の位置	
9 法第35条の規定が適用される建築設備	令第5章第2節の規定が適用される排煙設備	排煙設備の構造詳細図	令第123条第3項第1号に規定する排煙設備の構造方法
	令第5章第3節の規定が適用される排煙設備	各階平面図	排煙の方法及び火災が発生した場合に避難上支障のある高さまで煙又はガスの降下が生じない建築物の部分 令第106条の2第1項第2号に該当する窓その他の開口部の位置 防火区画及び令第126条の2第1項に規定する防煙壁による区画の位置 排煙口の位置 排煙風道の配置 排煙口に設ける手動開放装置の使用方法を表示する位置 排煙口の開口面積又は排煙機の位置 法第34条第2項に規定する建築物又は各構えの床面積が1000㎡を超える地下街に設ける排煙設備の制御及び作動状態の監視を行うことができる中央管理室の位置 予備電源の位置 不燃性ガス消火設備又は粉末消火設備の位置 給気口を設けた付室(以下「給気室」という。)及び直通階段の位置 給気口から給気室に通ずる建築物の部分に設ける開口部(排煙口を除く。)に設ける戸の構造

			床面積求積図	防火区画及び令第126条の2第1項に規定する防煙壁による区画の面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	
			二面以上の断面図	排煙口に設ける手動開放装置の位置 排煙口及び当該排煙口に係る防煙区画部分に設けられた防煙壁の位置 給気口の位置 給気口の開口面積及び給気室の開口部の開口面積	
			使用建築材料表	建築物の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げに用いる建築材料の種類	
			排煙設備の構造詳細図	排煙口の構造 排煙口に設ける手動開放装置の使用 排煙風道の構造 排煙設備の電気配線に用いる配線の種別 給気室の構造	
			排煙機の空気を排出する能力を算定した際の計算書	排煙機の空気を排出する能力及びその算定方法	
			排煙設備の使用材料表	排煙設備の給気口の風道に用いる材料の種別	
	令第5章第4節の規定が適用される非常用の照明装置		各階平面図	照明装置の位置及び構造 非常用の照明装置によって、床面において1ルクス以上の照度を確保することができる範囲	
	令第5章第6節の規定が適用される非常用の照明設備、排煙設備及び排水設備(地下街)		非常用の照明設備の構造詳細図	照度 照明設備の構造 照明器具の位置及び材料の種別	
			非常用の排煙設備の構造詳細図	地下道の床面積 垂れ壁の材料の種別 排煙設備の構造、配置及び材料の種別 排煙口の手動開放装置の構造及び位置 排煙機の能力	
			地下道の床面積求積図	床面積の求積に必要な地下道の各部分の寸法及び算式	
			非常用の排水設備の構造詳細図	排水設備の構造及び材料の種別 排水設備の能力	
10	法第36条の規定が適用される建築設備	令第129条の2の4第2号に関する規定が適用される昇降機以外の建築設備	構造詳細図	昇降機以外の建築設備の構造方法	
		令第28条から第31条まで、第33条及び第34条に関する規定が適用される便所	配置図	くみ取便所の便槽及び井戸の位置	
			各階平面図	便所に設ける採光及び換気のため直接外気に接する窓の位置又は当該窓に代わる設備の位置及び構造	
			便所の構造詳細図	尿尿に接するくみ取便所の部分 くみ取り便所の便器及び小便器から便槽までの污水管の構造	

		水洗便所以外の大便所に設ける窓その他換気のための開口部の構造	
		便槽の種類及び構造	
		改良便槽の貯留槽に設ける掃除するための穴の位置及び構造	
		くみ取便所に講じる防水モルタル塗その他これに類する防水の措置	
		くみ取便所のくみ取口の位置及び構造	
	便所の断面図	改良便槽の貯留槽の構造	
		汚水の温度の低下を防止するための措置	
	便所の使用材料表	便器及び小便器から便槽までの污水管に用いる材料の種類	
		耐水材料で造り、防水モルタル塗その他これに類する有効な防水の措置を講じる便槽の部分	
	井戸の断面図	令第34条ただし書きの適用に係る井戸の構造	
	井戸の使用材料表	令第34条ただし書きの適用に係る井戸の不浸透質で造られている部分	
令第129条の2の5の規定が適用される配管設備	配置図	建築物の外部の給水タンク等の位置	
		配管設備の種類及び配置	
		給水タンク及び貯水タンク(以下「給水タンク等」という。)からくみ取便所の便槽、浄化槽、排水管(給水タンク等の水抜管又はオーバーフロー管に接続する管を除く。)、ガソリタンクその他衛生上有害な物の貯蔵槽又は処理に供する施設までの水平距離(貯水タンク等の底が地盤面下にある場合	
	各階平面図	配管設備の種類及び配置	
		給水管、配電管その他の管が防火区画等を貫通する部分の位置及び構造	
		給水タンク等の位置及び構造	
		建築物の内部、屋上又は最下階の床下に設ける給水タンク等の周辺の状	
		ガス栓及びガス漏れ警報設備の位置	
	二面以上の断面図	給水管、配電管その他の管が防火区画等を貫通する部分の構造	
		給水タンク等の位置及び構造	
		建築物の内部、屋上又は最下階の床下に設ける給水タンク等の周辺の状	
		ガス漏れ警報設備を設けた場合にあつては、当該設備及びガス栓の位置	
配管設備の仕様書	腐食するおそれのある部分及び当該部分の材料に応じ腐食防止のために講じた措置		
	圧力タンク及び給湯設備に設ける安全装置の種類		
	水槽、流しその他水を入れ、又は受ける設備に給水する飲料水の配管設備の水栓の開口部に講じた水の逆流防止のための措置		
	給水管の凍結による破壊のおそれのある部分及び当該部分に講じた防凍のための措置		
	金属製の給水タンク及び貯水タンクに講じたさび止めのための措置		
	給水管に講じたウォーターハンマー防止のための措置		
	配管設備に講じた排水トラップ、通気管等の設置等の措置		
	配管設備の覆いの有無		
	飲料水の配管設備に設ける活性炭等の濾材その他これに類するものを内蔵した装置の位置及び構造		

		給水管に講じたウォーターハンマー防止のための措置 ガス栓の金属管等への接続方法 ガスが過流出した場合に自動的にガスの流出を停止することができる機構 排水トラップの深さ及び汚水に含まれる汚物等が付着又は沈殿しない装置	
	配管設備の構造詳細図	飲料水の配管設備に設ける活性炭等の濾材その他これに類するものを内蔵した装置の位置及び構造 給水タンク等の構造 排水槽の構造 阻集器の位置及び構造 ガス漏れ警報設備の構造	
	配管設備の系統図	配管設備の種類、配置及び構造 配管設備の末端の連結先 給水管、配電管その他の管が防火区画等を貫通する部分の位置 給水管の止水弁の位置 排水トラップ、通気管等の位置	
	排水のための配管設備の容量及び傾斜を算出した際の計算書	排水のための配管設備の容量及び傾斜並びにそれらの算出方法	
	配管設備の使用材料表	配管設備に用いる材料の種別	
	風道の構造詳細図	風道の構造 防火設備及び特定防火設備の位置	
令第129条の2の6の規定が適用される換気設備	各階平面図	給気口又は給気機の位置 排気口若しくは排気機又は排気筒の位置	
	二面以上の断面図	給気口又は給気機の位置 排気口若しくは排気機又は排気筒の位置	
	換気設備の構造詳細図	排気筒の立上り部分及び頂部の構造 給気機の外気取り入れ口、給気口及び排気口並びに排気筒の頂部に設ける雨水又はねずみ、虫、ほこりその他衛生上有害なものを防ぐための設備 直接外気に開放された給気口又は排気口に設ける換気扇の換気能力を外気の流れによって著しく低下させないための構造 中央管理方式の空気調和設備の空気浄化装置に設ける濾過材、フィルターその他これらに類するものの構造	
	中央管理方式の空気調和設備の給気機又は排気機の給気又は排気能力を算定した際の計算書	中央管理方式の空気調和設備の給気機又は排気機の給気又は排気能力及びその算定方法 換気経路の全圧力損失(直管部損失、局部損失、諸機器その他における圧力損失の合計をいう。)及びその算出方法	
	換気設備の使用材料	風道に用いる材料の種別	
	令第129条の2の7の規定が適用される冷却塔設備	各階平面図	冷却塔設備から建築物の他の部分までの距離
	二面以上の断面図	冷却塔設備から建築物の他の部分までの距離	
	冷却塔設備の仕様書	冷却塔設備の容量	
	冷却塔設備の使用材料表	冷却塔設備の主要な部分に用いる材料の種別	
令第129条の3第1項第1号及び第2項第1号並びに第129条の4から第129条の10までの規定が適用されるエレベーター	平面図	エレベーターの機械室に設ける換気上有効な開口部又は換気設備の位置 エレベーターの機械室の出入口の構造 エレベーターの機械室に通ずる階段の構造 エレベーター昇降路の壁又は囲いの全部又は一部を有さない部分の構造	
	床面積求積図	エレベーターの機械室の床面積及び昇降路の水平投影面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	

	エレベーターの仕様書	エレベーターの用途及び積載量並びに最大定員	
		昇降工程	
		エレベーターのかごの定格速度	
		保守点検の内容	
	エレベーターの構造詳細図	エレベーターのかごの構造	
		エレベーターの主要な支持部分の位置及び構造	
		エレベーターのかご及び昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸の位置及び非常の場合においてかご内の人を安全にかご外に救出することができる開口部の位置及び構造	
		エレベーターの駆動装置及び制御器の位置及び取付方法	
		エレベーターの制御器の構造	
		エレベーターの安全装置の位置及び構造	
		エレベーターの用途及び積載量並びに最大定員を明示した標識の意匠及び当該標識を掲示する位置	
	エレベーターのかご、昇降路及び機械室の断面図	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかごの床先と昇降路の壁との水平距離	
エレベーターの昇降路内の突出物の種別、位置及び構造			
エレベーターの機械室の床面から天井又ははりの下端までの垂直距離			
エレベーターの機械室に通ずる階段の構造			
エレベーターの強度検証法により検証した際の計算書	固定荷重及び積載荷重によって主要な支持部分等に生ずる力		
	主要な支持部分等の断面に生ずる常時及び安全装置作動時の各応力度		
	主要な支持部分等の材料の破壊強度を安全率で除して求めた許容応力度		
	独立してかごを支え、又は吊ることができる部分の材料の破壊強度を限界安全率で除して求めた限界の許容応力度		
エレベーターの荷重を算定した際の計算書	エレベーターの各部の固定荷重		
	エレベーターのかごの積載荷重及びその算定方法		
	エレベーターのかごの床面積		
エレベーターの使用材料表	エレベーターのかご及び昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸(構造上軽微な部分を除く。)に用いる材料の種別		
	エレベーターの機械室の出入口に用いる材料		
令第129条の3第1項第2号及び第2項第2号並びに第129条の12の規定が適用されるエスカレーター	エスカレーターの仕様書	エスカレーターの勾配及び揚程	
		エスカレーターの踏段の定格速度	
		保守点検の内容	
	エスカレーターの構造詳細図	通常の使用状態において人又は物が挟まれ、又は障害物に衝突することがないようにするための措置	
		エスカレーターの制御装置の構造	
		昇降口において踏段の昇降を停止させることができる装置の構造	
		エスカレーターの踏段の構造	
		エスカレーターの主要な支持部分の位置及び構造	
	エスカレーターの断面図	エスカレーターの踏段の両側に設ける手すりの構造	
		エスカレーターの踏段の幅及び踏段の端から当該踏段の端の側にある手すりの上端部及び中心までの水平距離	

	エスカレーターの強度検証法により検証した際の計算書	固定荷重及び積載荷重によって主要な支持部分等に生ずる力 主要な支持部分等の断面に生ずる常時及び安全装置作動時の各応力度 主要な支持部分等の材料の破壊強度を安全率で除して求めた許容応力度 独立して階段を支え、又は吊ることができる部分の材料の破壊強度を限界安全率で除して求めた限界の許容応力度	
	エスカレーターの荷重を算定した際の計算書	エスカレーター各部の固定荷重 エスカレーターの階段の積載荷重及びその算定方法 エスカレーターの階段面の水平投影面積	
令第129条の3第1項第3号及び第2項第3号並びに第129条の13の規定が適用される小荷物専用昇降機	各階平面図	小荷物専用昇降機の昇降路の壁又は囲い及び出し入れ口の戸の位置	
	小荷物専用昇降機の構造詳細図	小荷物専用昇降機の昇降路の壁又は囲い及び出し入れ口の戸の構造 小荷物専用昇降機の安全装置の位置及び構造 かごの構造	
	小荷物専用昇降機の使用材料表	小荷物専用昇降機の昇降路の壁又は囲い及び出し入れ口の戸に用いる材料の種別	
令第129条の13の2及び第129条の13の3の規定が適用される非常用エレベーター	各階平面図	非常用エレベーターの配置	
		高さ31mを超える建築物の部分の階の用途	
		非常用エレベーターの乗降ロビーの位置	
		バルコニー又は外気に向かって開くことができる窓若しくは排煙設備の位置	
		非常用昇降ロビーの出入口(特別避難階段の階段室に通ずる出入口及び昇降路の出入口を除く。)に設ける特定防火設備	
		非常用エレベーターの乗降ロビーの床及び壁(窓若しくは排煙設備又は出入口を除く。)の構造	
		予備電源を有する照明設備の位置	
		屋内消火栓、連結送水管の放水口、非常コンセント設備等の消火設備を設置できる非常用エレベーターの乗降ロビーの部分	
		非常用エレベーターの積載量及び最大定員	
		非常用エレベーターである旨、避難階における避難経路その他避難上必要な事項を明示した標識を掲示する位置	
		非常用エレベーターを非常の用に供している場合においてその旨を表示することができる表示灯その他これに類するものの位置	
		非常用エレベーターの昇降路の床及び壁(乗降エレベーターに通ずる出入口及び機械室に通ずる鋼索、電線その他のものの周囲を除く。)の構造	
		避難階における非常用エレベーターの昇降路の出入口又は令第129条の13の3第3項に規定する構造の乗降ロビーの出入口から屋外への出口(道又は道に通ずる幅員4m以上の通路、空地その他これらに類するものに接しているりものに限る。)の位置	
避難階における非常用エレベーターの昇降路の出入口又は令第129条の13の3第3項に規定する構造の乗降ロビーの出入口から屋外への出口(道又は道に通ずる幅員4m以上の通路、空地その他これらに類するものに接しているりものに限る。)の一に至歩行距離			

		床面積求積図	非常用エレベーターの乗降ロビーの床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式	
		二面以上の断面図	建築物の高さ31mとなる位置	
		エレベーターの仕様書	非常用エレベーターのかごの積載量	
		エレベーターの構造詳細図	非常用エレベーターのかご及びその出入口の寸法 非常用エレベーターのかごを呼び戻す装置の位置 非常用エレベーターのかご内と中央管理室とを連絡する電話装置の位置 非常用エレベーターのかごの戸を開いたままかごを昇降させることができる装置及び予備電源の位置 非常用エレベーターの予備電源の位置	
		エレベーターの使用材料表	非常用エレベーターの乗降ロビーの室内に面する部分の仕上げ及び下地に用いる材料の種類	
11	高圧ガス保安法第24条の規定が適用される家庭用設備	各階平面図	一般高圧ガス保安規則第52条に規定する燃焼器に接続する配管の配置 一般高圧ガス保安規則第52条に規定する家庭用設備の位置	
		家庭用設備の構造詳細図	閉止弁と燃焼器との間の配管の構造 硬質管以外の管と硬質管とを接続する部分の締付状況	
12	ガス事業法第40条の4の規定が適用される消費機器	各階平面図	ガス事業法施行規則第108条第1号に規定する燃焼器(以下この項において単に「燃焼器」という。)の排気筒又は排気フードの位置 給気口その他給気有効な開口部の位置及び構造 密閉燃焼式の燃焼器の給排気部の位置及び構造	
		二面以上の断面図	燃焼器の排気筒の高さ 燃焼器の排気筒又は密閉燃焼式の燃焼器の給排気部が外壁を貫通する箇所の構造	
		消費機器の仕様書	燃焼器の種類 ガスの消費量 燃焼器出口の排気ガスの温度 特定地下街等又は特定地下室等に設置する燃焼器と接続するガス栓における過流出安全機構の有無 ガス事業法施行規則第108条第10号に規定する自動ガス遮断装置の有 ガス事業法施行規則第108条第10号に規定するガス漏れ警報装置の有	
		消費機器の構造詳細図	燃焼器の排気筒の構造及び取付状況 燃焼器の排気筒を構成する各部の接続部並びに排気筒及び排気扇の接続部の取付状況 燃焼器と直接接続する排気筒と燃焼器との取付状況 密閉燃焼式の燃焼器の給排気部(排気に係るものに限る。)を構成する各部の接続部並びに給排気部及び燃焼器のケーシングの接続部の取付状況 燃焼器の排気筒に接続する排気扇が停止した場合に燃焼器へのガスの供給を自動的に遮断する装置の位置 ガス事業法施行規則第106条第2号イに規定する建物区分のうち特定地下街等又は特定地下室等に設置する燃焼器とガス栓との接続状況	
		消費機器の使用材料表	燃焼器の排気筒に用いる材料の種類 燃焼器の排気筒に接続する排気筒に用いる材料の種類 密閉燃焼式の燃焼器の給排気部(排気に係るものに限る。)に用いる材料	

13	水道法第16条の規定が適用される給水装置	給水装置の構造詳細図	水道法第16条に規定する給水装置(以下この項において単に「給水装置」という。)の構造	
		給水装置の使用材料表	給水装置の材質	
14	下水道法第10条第1項の規定が適用される排水設備	配置図	下水道法第10条第1項に規定する排水設備(以下この項において単に「排水設備」という。)の位置	
		排水設備の構造詳細図	排水設備の構造	
15	下水道法第30条第1項の規定が適用される排水設備	配置図	下水道法第30条第1項に規定する排水設備(以下この項において単に「排水設備」という。)の位置	
		排水設備の構造詳細図	排水設備の構造	
16	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2の規定が適用される供給設備及び消費設備	配置図	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則第18条第1号に規定する貯蔵設備及び同条第3号に規定する貯槽並びに同条第1条第2項第6号に規定する第1種保安物件及び同項第7号に規定する供給管の配置	
		供給設備の仕様書	貯蔵設備の貯蔵能力 貯蔵設備、気化装置及び調整器が供給しうる液化石油ガスの数量 一般消費者等の液化石油ガスの最大消費数量	
		供給設備の構造詳細図	貯蔵設備の構造 バルブ、集合装置、気化装置、供給管及びガス栓の構造	
		供給設備の使用材料表	貯蔵設備に用いる材料の種別	
		消費設備の構造詳細図	諸費設備の構造	
17	浄化槽法第3条の2第1項の規定が適用される浄化	配置図	浄化槽法第3条の2第1項に規定する浄化槽からの放流水の放流先又は	
18	特定都市河川浸水被害対策法第8条の規定が適用される排水設備	配置図	特定都市河川浸水被害対策法第8条に規定する排水設備(以下この項において単に「排水設備」という。)の位置	
		特定都市河川浸水被害対策法第8条の条例で定められた制限に適合することの確認に必要な図書	当該ようれいで定められた制限に係る排水設備に関する事項	